

平成30年7月20日  
総合政策局国際物流課

## 北東アジア シームレス物流等の実現に向けた取組推進に合意 ～秋本政務官が「第7回日中韓物流大臣会合」に参加～

7月18日、北東アジアの物流分野における協力・連携の推進を目的とする「第7回日中韓物流大臣会合」が開催され、秋本政務官が日本政府を代表して参加しました。会合では、(1)シームレス物流システムの実現、(2)環境にやさしい物流システムの構築、(3)安全かつ効率的な物流の両立について、日中韓3カ国が協力関係を更に進展させること等について合意しました。

### 記

1. 開催日 平成30年7月18日（水）
2. 開催場所 大韓民国ソウル市 ウェスティン・チョースン・ホテル・ソウル
3. 主な内容

本会合では、これまでの共同声明や行動計画に基づく取組による成果や、今後の協力の方向性について、各国代表者による意見交換を行い、「共同声明」として採択しました。主な合意事項については別添1の通りです。秋本政務官からは、日本の物流施策の現状に関する情報提供の他、各国の制度の違いを踏まえた更なる物流協力の方向性等について発言を行いました。

今後は、共同声明に基づき、日中韓で連携して北東アジアにおけるシームレス物流の実現等に向けて、取組を進めることとしています。

#### 4. 参加者

日本：秋本 真利 国土交通大臣政務官 他  
中国：何 建中（フー・ジャンチョン）交通運輸部副部長 他  
韓国：姜 俊錫（カン・ジュンス）海洋水産部次官 他



（物流大臣会合の様相）



（共同声明署名後、両国代表と握手）

※写真左から

何副部長（中国）・姜次官（韓国）・秋本政務官

連絡先：国土交通省総合政策局国際物流課 桑名、永田  
電話：03-5253-8111(内線 25416, 25428) 直通 03-5253-8800 FAX 03- 5253-1559

## 第7回日中韓物流大臣会合に向けた主な協議内容

## これまでの主な具体的取組

- 日韓シャーシ相互通行を実施、日中の安全基準を満たしたシャーシが完成
- 物流機材(パレット)のサイズの規格等の標準化を実施。また、物流機材のリターナブルユースに係る専門家会合を開催し、その促進に向けて検討
- 日中韓で港湾におけるコンテナの位置情報を可視化するための仕組み(NEAL-NET(ニールネット))を整備

## 新たな取組・これまでの取組の拡大

## ①シャーシの相互通行の拡大に向けた取組【共同声明・行動計画2】

- ・<日韓>パイロット事業の拡大(航路・貨種等)の可能性について探求(今後日通等の関係者と調整)
- ・<日中>パイロット事業の実現に向けた相互協力(日通が下関—太倉航路にて調整中)

## ②標準化された物流機材(パレット)の普及促進・物流機材のリターナブルユースの拡大【共同声明・行動計画5】

- ・パレットの品質(強度)等の国家規格化(日韓は対応済み。今後中国に対し働きかけ。)
- ・各国間での物流機材のリターナブルユースの促進のための情報共有等の協力(専門家会合の開催等)
- ・ASEAN諸国等への普及促進(APSF(Asia Pallet System Federation)で取組)

## ③環境にやさしい物流の実現に向けた取組の拡大【共同声明・行動計画9】

- ・専門家会合の開催等を通じ、各国の政策の情報共有や共同研究の実施に向けて協力

## ④NEAL-NETの対象港湾の拡大等【共同声明・行動計画3】

- ・日中韓におけるNEAL-NETの対象港湾の拡大(中国:大連・嘉興、日本:新潟・四日市、韓国:蔚山・平沢)
- ・EU、ASEAN諸国等への対象港湾の拡大 ・ 海上から新たな輸送モードへの拡大

## ⑤第4次産業革命分野における協力【共同声明・行動計画11】

- ・ワークショップや会議を通じて、スマート輸送テクノロジーに関する情報共有を推進